

# 小5の「盗撮」を 考えてみましょう



兵庫県立大学環境人間学部教授

竹内 和雄

たけうち かずお ネットの使用に課題を感じる子たちとの「オフラインキャンプ」や、ネットについて子ども自身が話し合う「スマホサミット」がライフワークです。ネットの制限ではなく、利活用の方策を考えています。



今月号から、子どもとネット・スマホの問題に関連して、その時々「ぜひ皆さんにお伝えしたい」と感じたことをご紹介していきます。お付き合いください。

授業用タブレットで複数男子児童が  
女子児童盗撮 東京 武蔵野

NHK首都圏ニュース（2024年1月11日）の見出しです。社会的に大きな反響があり、私も複数の記者から取材を受けました。被害女児の受けた精神的ダメージを考えると心が痛みます。教育者として、皆さんと一緒にもう少し考えてみましょう。

どの程度、罪の意識があったか

ネットで「学校 盗撮」で検索すると、「中学生が盗撮」（2022年、愛知県、「小学校教諭が盗撮」（2024年、奈良県）など多数がヒットし、学校での盗撮は珍しいことではなさそうです。ただ、小学生でも盗撮をできてしまうことが社会に与

えたインパクトは大きいです。

私に取材された記者さんたちは、学校が配付した情報機器での盗撮に心を痛めておられました。詳しいことがわかっていないので、断定的なことは書けません。小学校5年生という年齢が1つ目のポイントです。彼らがどの程度、罪の意識があったか、です。

私が小2のとき、いたずらっ子のA君がスカートめくりを繰り返して、担任の先生にきつく叱られました。たまたま担任の先生が目撃したとき、私も横にいて笑っていたので、「竹内も同罪だ！」と厳しく叱られました。

当時、幼かった私は、スカートめくりは「単なる悪ふざけで、教師が目くじら立てて怒ることでもない」程度の認識でした。A君はクラスの人気者で、スカートめくりをされた女子も怒りながらも笑っているような印象でした。まだ子どもだったので、もしかしたら女子は本当に嫌だったのかもしれないですが、私がそう感じていた、というのが重要です。叱られて初めて、女子が本気で嫌がつている

かもしれない、と考えるようになりまし  
た。さらに校長室に連れていかれて叱ら  
れたA君を見て、「これは大変なことだ」  
と思ったのをはつきりと覚えています。  
その日を境に、A君はスカートめくり  
をしなくなりました。缶蹴り、ビー玉、  
にらめっこ……他にいくらでも楽しいこ  
とがあったからです。

### 子どもたちは盗撮をする

今回の武蔵野市の件で、2つ目のポイ  
ントは、子どもたちは盗撮をする、とい  
うことです。昔のスカートめくりと比べ  
てはいけなかもしれないませんが、しっか  
り指導しなければやっってしまう子はど  
のクラスにもいるはずで。

学校に情報端末を入れるということは、  
当然、そういうことも起きることを想定  
しておかなければなりません。

子どもの発達が早まり、早い子は小5  
くらいで思春期が始まります。私がかか  
わっている、こども家庭庁の調査で、ネ  
ット利用率が過半数を超えるのは、2歳

だとわかっています。そう考えると小5  
はかなりのベテランです。

「盗撮は絶対にやってはいけない」こと  
は私たち大人には常識ですが、子どもた  
ちは教えられなければ、それがいかにダ  
メなのかわからない場合もあります。小  
2の竹内少年がそうだったように、叱ら  
れて気づく子どももいるはずで。

### 叱られる権利

私は最近、ユニセフと、子どもの人權  
等について取り組んでいます。「遊ぶ權  
利」「意見を表明する権利」等、子どもの  
権利を尊重することは重要です。特に、  
生徒指導提要のいう「発達支持的生徒指  
導」を進めるときには、子どもの権利の  
尊重は基本的スタンスです。

なかでも最近特に重要だと思うのは、  
子どもの「叱られる権利」です。適切な  
タイミングで、ダメなことはダメと叱ら  
れることは大切です。

「手を挙げて横断歩道を渡りましょう」  
と交通ルールを学校でも教えてきたよう

に、ネットルールについても学校で教え  
る必要があるのは自明です。

### 禁止することで奪われる 叱られる権利

数年前、東京・町田市で学校配付の情  
報端末を使つたはじめがあり、女兒が自  
殺したと報じられました。それ以降、多  
くの自治体は、学校配付端末で子どもだ  
けでのチャットを禁じました。私は、学  
校でチャット等をさせると、当然トラブ  
ルも起きると予想し、それが子どもたち  
の学びになると考えていたので、禁止は  
残念で仕方ないです。子どもの「叱られ  
る権利」が剝奪されたからです。

今回の盗撮を受けて、日本中の自治体  
が子どものカメラ禁止に動かないか、心  
配です。盗撮は絶対にダメなことですが、  
やろうと思えば簡単にできます。だから  
「教育が必要」なのです。

武蔵野市の出来事を責めても何も始ま  
りません。私たちは今、試行錯誤しなが  
ら、ネットの文化づくりをしているので  
す。試されているのは私たち大人です。